PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第63号

'01, 2, 1 発刊

Yeah!マネージャー No.22 ～収入印紙事件～

作. チーフ井上

拝啓 February

東京にも大雪が降り寒い日が続く2001年。しかし暖冬よりもしっかり寒い冬の方がいいのではないかと思いつつ、これも異常気象か?と疑ってしまったりします。真実は地球のみが知っているのでしょう。ちっぽけな人間のちっぽけな思いでした。

News 2/17(土) 町内会復活!

今月の田口マスターの動き

@謎!ハンドルからオイルだらだら事件…入浴中のチーフ井上の携帯が突然鳴った。胸さわぎがしたチーフは無理して電話に出た。すると…

かわら版のネタになるのでは?と電話してくれたらしい。

その後ディーラーの所に車を持っていったが部品代で3万ほどとられたらしい。

今年もついてないスタートだ。

@選挙演説で眠れず…

マスターの睡眠時間はAM8:00～PM4:00位だが、その時間にぴたりと合わせ埼玉の市議選?か何かの選挙演説が大音量で流れ、睡眠不足におちいっている。

もし眠そうなマスターを見かけても大目に見てやって下さい。2月の始め頃までこんな毎日が続くそうです。

タイムサービス続行中!8:00までに御来店のお客さん、ドリンクall ¥400 ボトルall ¥5000です。早く来てね!

スタッフ丸山がバンジョーを始める!

金髪のバンキンバンキンR&Rギターリストの丸山アキラ(24)が今年の箱根フェスに向けてバンジョーを始めることとなった。地味なルックスが多勢を占めるブルーグラス界の中、金髪バンジョー弾きの誕生は外見からしても期待度満点だ。しかも初心者ながら、上海に行くバンジョー越田のギブソン(!)をかりるという生意気さだ。ボーカルはこれもロッキースタッフのデル内山だ。ロッキーのスタッフがブルーグラスを始める、うん、いい事だ。バンジョー弾きの皆さん、丸山に声をかけ優しく教えてあげて下さい。見かけよりはいい奴なんで、ひとつよろしく!

バンジョー越田 上海へ…

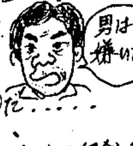
ブルーグラス界の「トモ」とも言われた越田久栄(29)が社命により上海へ、4.5年の転勤となり、1/29日本を発った。「年に一回フェスに行く」と言い残していたがおそらくそのうちやたらとフェスに出没しそうな気がする。何しろ3時間弱で日本に着くのだ。新幹線で東京―大阪間とあまり変わらないわけだ。フェスで会うならいつもと同じですね。しかし越田が上海で少しでもブルーグラスをたのしんでくれることを願っています。

21世紀に残したい! ロッキー世紀末事件簿

@えっ!シメさんとホモ説…かつてロッキーでバイトしていたテキーラサーキットの中島シメさんと小柳マスターがホモダチという、とんでもない噂が流れた事があった。シメさんは当時大学生で確かに今よりピチピチしていただろうが、それにしても…真相はどうなのか…当時西海さんもバイトしていたのだが、西海さんとの噂じゃないだけに本当っぽい。その辺の所を小柳さんにきくと、始めは素直に女の子といちゃいちゃしていたらしいが「あそこのマスターは女好きだ」と噂が立つので「噂はこえーなー」と思い、女の子にはムスっとして、シメさんにニコニコしていた→

そしたら今度は「ホモだ!」と噂され逆効果となってしまったのだ…

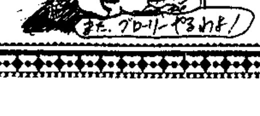
こないだ小柳さんは



と言っていたが

真相はまだ、明らかにされていないのだ……

@モーニンググローリー大人気!…ロッキーのバイトにシメさんを紹介し自らも働いていたVo.チエさんを中心に女の子ブルーグラスバンド、モーニンググローリーが結成されたのが1984年頃。それから6年ほどロッキーにほぼ毎月出演した。ただでさえ男ばかりでむさいブルーグラス界にたちまち旋風を巻き起こした。テレビ出演するなど活躍し、ブルーグラス界に咲いた大きな花となった。メンバーの結婚などでバンドはやむなく解散したが、今でも小柳さんの心にいい思い出として残るバンドだ。こないだVo.チエさんが久々にロッキーに来て→



と爆発していました。

是非また復活して下さい。ロッキートップはいつでも待っています!

チーフ井上の北朝鮮紀行⑤ ―板門店の巻その1―

朝鮮と韓国の軍事境界線板門店(北緯38°)に行った。どしゃ降りの雨の中、バスで平壌から4時間。バスの中を盛り上げようと、ギター、三線を持っていき、沖縄民謡からオリジナルまで唄った。朝鮮のガイドさんから「三味線先生」とあだ名をつけられる。朝鮮の人達は本当に歌うのが大好き。引き気味の日本人に対し「統一の唄」という歌を懸命に教えてくれた。俺はノートに書きとり、この旅の愛唱歌となった。板門店に着く。ガイド役の軍人は20代後半の若者だったが、しっかりとしたまなざしではっきりと話す姿は何ともりりしかった。こんな奴今の日本の20代にはいないなー。北朝鮮側から見た国境は不気味なものだった。プレハブが5つほど、グレーのプレハブが北朝鮮管理、ブルーが韓国管理、真ん中に両国が共同管理するプレハブがある。プレハブの横には両国の軍人がそれぞれ整列し微動だにせず起立している。本来同じ国の人間同志が離れて会話もせず、雨の中つっ立ってる姿は何とも言いがたかった。プレハブの奥には韓国の大きな建物があり、こっちを監視しているという。とにかくこの不気味な緊張感は何なんだろう…つづく